

学校長祝辞

ご卒業おめでとうございます。皆さんに、私から1つアドバイスを送ります。それは、どんな時も高い目標を持ち、挑戦を続けようということです。

皆さんは、パナソニックホールディングスを一代で築き上げた松下幸之助さんを知っていますか。彼は別名経営の神様と呼ばれていますが、父親の事業に失敗し、小学校を4年で中退、わずか9歳で丁稚奉公に出されます。その後、大阪市に導入された路面電車を見て、これからは電気の時代が来ると考え、電気に関わる仕事を志して、大阪で現関西電力に入社されます。その時にソケットを考案し、のちにわずか5名で会社を設立、松下電気機器製作所を創業し、以降、大企業となる礎を築かれました。彼は、失敗したところでやめるから失敗になる、成功するところまで続ければ成功になるということを言われています。

人生100年の時代において、皆さんにはこの先様々な試練が訪れると思います。その時、その試練をどのように工夫して乗り越えていくかということが大切です。松下さんのように、不運であることを他人や社会や周りのせいにするのではなく、それらを前向きにチャンスと捉えて乗り越えていこうとする意思と努力が必要です。失敗したことをそのままにしない、ピンチを最大のチャンスと捉えて行動していくことが人生の醍醐味でもあるんです。

皆さんはこの3年間、本校で様々な困難や努力をしてきました。新しいアイデアを取り入れて学校をリードしてきました。また、学習や部活動など、どれをとっても全力で取り組んできたことが皆さんの力となっているはずです。いかなる変化が起ころうと、柔軟な判断を下し、実践していくことができるはずです。第78回生の皆さん、社会に自信を持って出発をしてください。

保護者の皆様、本日はご卒業、誠におめでとうございます。皆様には本日まで本校の教育活動に対しまして御理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。この場を借りて、心よりお礼を申し上げます。これからお子様は人生において最も大切な時期に入ります。楽しみが多い反面、親として悩むことも多いかと思います。そんな時こそ、皆様の前向きに生きる姿が手本となり、必ずやお子様を勇気づけ、困難を乗り越えていくエネルギーとなります。お子様が夢を持ち、夢に向かっていく姿を1番の応援者となってどうか温かく見守ってください。本校の教職員はこれからも卒業生1人1人の豊かな人生の実現に向けて、保護者の皆様方と力を合わせて応援していくことをここにお約束します。

卒業生の皆さん、この壇上で、全校集会等で、よく感謝の気持ちを持ちましょうという話を中心にしていましたが、感謝って気づかない人は永遠に気づかないんです。でも、感謝って気づくことで、初めて幸せがやってきて、その幸せに気づけると思います。いろんなことがあると思うけれど、チャンスと捉えて前向きにここでの学びをふまえて頑張ってほしいと思っています。困った時はいつでも来てください。姫路工業高等学校第78回生の皆さんがこれから歩まれる生に幸せの花がいっぱい咲くことを祈念し、祝辞とします。